

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	長野 寛
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3254
事務事業名	13746 霊園施設整備事業						
所 属	121000 市民環境部・生活環境課						
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	040107 衛生費・保健衛生費・霊園管理費					
	事業	020000 霊園施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
市営霊園整備				市営霊園施設内の整備を行い、使用者の利便性を向上させる。 ・松川霊園内へ新合葬式墓地を建設する。(H30) ・坂田霊園の擁壁補修工事を行う。(H30-R2) ・松川霊園の駐車場整備を行う。(※坂田霊園擁壁補修完了後) ・松川霊園第一合葬式墓地法名立追加設置工事 (R5)			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 実績
松川霊園第二合葬式墓地建設設計業務委託 坂田霊園擁壁補修工事に伴う測量業務委託 坂田霊園擁壁補修工事に伴う設計業務委託	松川霊園第二合葬式墓地建設 坂田霊園擁壁補修工事
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
坂田霊園擁壁補修工事	坂田霊園擁壁補修工事

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		2,549	9,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,549	9,000
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,453.0	1,453.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,453.0	1,453.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		4,002.0	10,453.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	2,549	坂田霊園擁壁補修工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	9,000	坂田霊園擁壁補修工事
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	坂田霊園造成（s40年）から経年劣化した擁壁の修繕であり、崩落防止、安全確保のため必要な修繕である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	坂田霊園造成（s40年）から経年劣化した擁壁の修繕であり、崩落防止、安全確保のため必要な修繕である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	擁壁空洞部への充填剤注入及び水抜きパイプ増設と擁壁現況に応じた適切な修繕方法とした。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

擁壁の劣化が著しく大雨等の際に最も水の流れ出る山側の「瑞地」及び「信地」の擁壁補修が完了した。台風19号において、山から大量の水が流れ出たが、山側部の擁壁補修が完了していたため被害は無かった。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

霊園の適切な維持管理に努める必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

擁壁の補修工事を進めてきた。今後も、補修が必要となった場合には、適切な対応を行い、施設の維持管理に努める必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--